



子宮頸がん等予防ワクチンの^{けい}

公費助成を継続します

問 保健センター

☎ 52・4999

町では、平成24年度も接種費用の助成を継続します。これらの予防接種は、保護者の希望により受ける「任意の予防接種」です。接種を希望される人は、接種医とご相談ください。

◇平成24年度も接種費用の助成を継続します。これらの予防接種は、保護者の希望により受ける「任意の予防接種」です。接種を希望される人は、接種医とご相談ください。

◇接種回数と標準的な接種パターン
①サーバリックス
3回（初回、初回から1カ月後、6カ月後）
②ガーダシル
3回（初回、初回から2カ月後、6カ月後）
*同じ種類のワクチンを3回続けて接種することで有効性・安全性が保たれますので、接種の途中でワクチンの種類を変更しないようにしてください。

◇接種回数と標準的な接種パターン
①サーバリックス
3回（初回、初回から1カ月後、6カ月後）
②ガーダシル
3回（初回、初回から2カ月後、6カ月後）
*同じ種類のワクチンを3回続けて接種することで有効性・安全性が保たれますので、接種の途中でワクチンの種類を変更しないようにしてください。

◇対象者
接種日に生後2カ月～5歳未満の乳幼児

子宮頸がん予防ワクチン

◇平成24年度対象者

中学1年生～高校1年生に相当する年齢の女子（平成8年4月2日～平成12年4月1日生）

*高校2年生相当（平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ）の女子については、平成24年3月31日までに1回でも接種を開始した場合は、4月以降の接種費用も助成の対象になります。



ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン

△共通事項▽

■個人負担額

無料（体調が悪く予診のみの診察費用については助成がありません）

■助成期限

平成25年3月31日

■接種場所

県内委託医療機関

■持参品

母子健康手帳と予診票（お持ちでない人は保健センターへご連絡ください）

■予防接種後に健康被害が生じた場合

予防接種法による救済制度とは異なり、町の総合賠償補償保険に基づく救済となります。

